

## 「TSUBASA FinTech共通基盤」による 銀行アプリ等のID数が合計500万件を突破しました

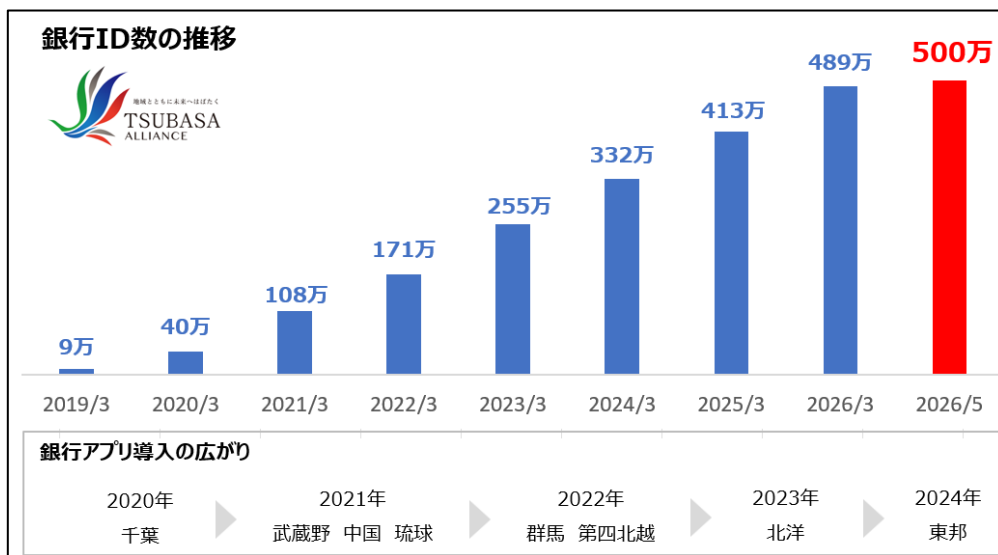
武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、TSUBASAアライアンス<sup>注1</sup>によるデジタルチャネル向け共通基盤「TSUBASA FinTech 共通基盤」<sup>注2</sup>を活用し、2021年よりスマホアプリ「武蔵野銀行アプリ」を提供しております。

今般、2026年5月31日（日）に、アライアンス参加行が共同の基盤を通して提供している銀行アプリ等のID数<sup>注3</sup>が500万件を突破しましたので、お知らせします。

TSUBASAアライアンスでは、従来より銀行アプリに代表されるデジタルチャネルの利便性向上に向けた協働を進めております。「TSUBASA FinTech 共通基盤」はそうしたデジタルチャネルを支える各行共通の基盤として2018年4月に開発され、アライアンス参加行は本基盤を活用し、地域のお客さまに銀行アプリ等を提供しております。

当行におきましては、アライアンス参加行との共同開発・連携強化により高品質なデジタルサービスを迅速かつ効率的に提供することが可能となり、振込・振替や定期預金・投資信託など多くの銀行取引について、店頭同様にアプリ上で行うことが可能となっております。

当行では今後もこうした連携を活かし、お客さまサービスの一層の充実に努めてまいります。



注1 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。(URL: <https://tsubasa-a1.co.jp>)

注2 TSUBASAアライアンス参加行とT&Iイノベーションセンター株式会社が共同で構築した、オープンAPIのプラットフォーム。

注3 銀行アプリや、家計簿アプリ・会計ソフト等の外部サービスと銀行口座を接続して利用されているユーザー数。

以上

報道機関からのお問い合わせ先  
デジタル推進部 デジタル企画グループ 根本 怜奈  
TEL (048) 641-6111 (代)